

第25期・第3回 臨床医学委員会 放射線・臨床検査・病理分科会 議事要旨（案）

日 時：令和4年2月1日（火）10:00～11:00

場 所：オンライン会議

出 席（20名）：松田道行、相田典子、青木茂樹、井上優介、遠藤啓吾、大友 邦、岡沢秀彦、
金井弥栄、神谷研二、定藤規弘、多湖正夫、中山智祥、橋本優子、増田しのぶ、
三上芳喜、安井 弥、山下俊一、山田章吾、山田俊幸、米倉義晴

欠 席（4名）：玉木長良、富樫かおり、真鍋俊明、矢富 裕

（当日名簿順）

議 題

（1）第25期第2回分科会議事要旨の確認について

井上委員長より第25期第2回分科会議事要旨の確認があり、承認された。

（2）臨床検査値の共有化とその問題点について

山田俊幸幹事から臨床検査値の共有化に関する報告案について説明された。令和3年10月から11月に分科会委員から受けた意見を参考にして、専門外の読者にもわかりやすくなるように配慮してタイトルや構成を見直しており、草稿の改訂版を今月中を目途に完成させる見込みであるが、趣旨には大きな変更はないとのことであった。今後の進め方について協議が行われ、随時分科会にも情報提供しながら関係する学会・団体からの意見も聴取し、臨床検査関係委員が最終案として取りまとめたものを分科会で審議することになった。意思の表出の申出書を提出することも確認された。

（3）医療従事者の放射線管理ワーキンググループ（WG）の活動について

井上委員長より医療従事者の放射線管理WGの活動について以下のような説明があった。

- ・令和3年8月30日に第1回オンライン会合を開催して医療従事者の放射線管理について審議し、意思表示に向けて検討を進めること、分科会外の4名にWGへの参画を依頼することが合意された。
- ・4名のWGへの参画は、分科会内の電子メールによる意見交換にて、承認 22、不承認 0、無回答 2で承認された。
- ・令和3年11月6日に医療従事者の放射線管理に関する素案文書を構成員で共有し、電子メールによる意見交換を行った。
- ・令和3年12月21日に第2回オンライン会合を開催し、構成員からの情報提供および素案に関する意見交換を行った。
- ・令和4年1月4日に見解案草稿を共有し、電子メールで意見交換を行った。

分科会からの意思表示では、事前に意思表示の申出書を提出することになったことが報告され、申出書の案が説明された。また、医療従事者の放射線管理の小委員会の設置が提案された。

その後の審議では、小委員会の委員をWGの構成員と同一とする案が承認された。見解を表出する場合、表出の主体は小委員会ではなく分科会であり、小委員会の審議を踏まえて分科会が見解を取りまとめることが確認された。放射線管理について医療従事者に限定して意思表示を行うことの妥当性について審議され、医療従事者の放射線管理には固有の問題が大きく、本分科会で医療従事者に特化した意思表示を行うことは適切であることが合意された。

審議の結果、意思表示の申出書の提出および小委員会設置提案が承認された。小委員会で見解

案を取りまとめて広く関係者との意見交換を行い、最終案を分科会に諮ることとなった。

(4) その他

WGの設置や構成員については分科会の承認事項とするが、WGへの参考人招致はWG内で判断し、分科会には報告でよいことが確認された。

今後の審議において、学術会議の規定に則った正式なメール審議も活用することが合意された。